

令和5年度厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業）
「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究」
分担研究報告書

生涯にわたる女性の健康支援のための情報提供・教育体制・相談体制構築のための
ウェブサイトおよび手引書の作成

研究代表者 荒田 尚子 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科 診療部長
研究分担者 高松 潔 東京歯科大学病院 産婦人科学 教授
研究分担者 西岡 笑子 防衛医科大学校医学教育部看護学科 母性看護学講座 教授
研究分担者 高橋 幸子 埼玉医科大学産婦人科地域医学推進センター 医師
研究分担者 片井 みゆき 政策研究大学院大学保健管理センター所長・教授
研究分担者 山本 精一郎 静岡社会健康医学大学院大学・社会健康医学研究科 教授
研究分担者 武藤 香織 東京大学医科学研究所公共政策研究分野 教授

研究要旨

同班の前班（令和2年度「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究班（研究代表者：荒田尚子）」）および令和3年度において作成された、女性の健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのテキストブック、支援者用動画、実際の支援の際に使用するリーフレットやパンフレットなどのコンテンツを収納した、プラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康教育プログラム」を基に、同プログラムを改訂・再構築し、実際に、保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する実証を行いながらさらに改訂し、アフタコロナ・ウイズコロナの新しい日常において、女性自身が各ライフステージで直面する様々な健康リスクの回避や対処が行えるように保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する支援者のためのプラットフォームを令和5年度に完成させた。さらに、同プログラムを使用する際の手引き書を作成した。

研究協力者

堀江 早喜 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 臨床研究員
三戸 麻子 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 医長
鈴木 瞳 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 研究員

中村 雅子 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科 臨床研究員
黒山 湖子 埼玉医科大学 研究補佐

教育プログラム」([URL:https://marutto-woman.jp/program/](https://marutto-woman.jp/program/))を基に、同班で作成した8～12歳、12～15歳、15～18歳の実際の支援の際に使用するリーフレットやパンフレット、指導書案を追加し、実際に、保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援を提供する実証を行いながら改訂した。さらに、「まるっと！女性の健康教育プログラム」を活用するための、「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援に向けた手引書（初版）」を作成した。

C. 研究結果

A. 研究目的

アフタコロナ・ウイズコロナの新しい日常において、女性自身が各ライフステージで直面する様々な健康リスクの回避や対処が行えるように、女性の健康を横断的・予防医学的に教育・支援することが重要である。保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成の場で、シームレスな健康教育と包括的かつ適切な教育や支援を提供する支援者のためのプラットフォームを完成させることが目的である。

B. 研究方法

令和3年度にオープンさせた、女性の健康を横断的・予防医学的に教育・支援するためのプラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康

令和3年度に作成したものに加え、8～12歳、12～15歳、15～18歳の支援の際に使用するリーフレット・パンフレット、指導書案を追加し、実際に、保健・医療・教育機関・産業等の場で適切な教育や支援の例を提示した。尚、18歳～40歳の成熟期年代のリーフレットや指導のためのコンテンツに関しては、令和2～4年度厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合事業）『生涯を通じた健康の実現に向けた「人生最初の1000日」のための、妊娠前から出産後の女性に対する栄養・健康に関する知識の普及と行動変容のための研究』班（研究代表者 荒田尚子）で作成されたプレコンセプションケアのためのコンテンツ「プレコンノート」（リーフレットおよび

ウェブコンテンツ) (URL: <https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/preconception/preconnote/>) へのリンクも行った。「まるっと！女性の健康教育プログラム」を活用するための、「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援に向けた手引書」(添付)は、ウェブコンテンツの内容を活用し現場での5歳からのシームレスな女性の健康支援を行えるよう、より若い年代への指導に重点を置けるように初版を作成した。

D. 考察

シームレスな女性の健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのプラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康教育プログラム」を作成したが、そのコンテンツの図表の著作権の問題、新しい情報への継続的な更新作業、セキュリティの課題、持続可能なシステムの構築など多くの課題が明らかになった。令和4年度には同システムを使用し、各分野の支援者とともに実際に当事者への支援を行い、さらに改訂をしていくながら、本プラットフォームを完成させていく必要がある。また、本研究班の研究機関終了後も持続可能なシステムにするための対策を検討することも重要な課題である。コンテンツ詳細について

では、「まるっと！女性の健康教育プログラム」(図、添付) ([URL:https://marutto-woman.jp/program/](https://marutto-woman.jp/program/)) を参照していただきたい。

E. 結論

シームレスな女性の健康教育と包括的な保健・医療・教育機関・産業等の各支援者養成のためのプラットフォームとなるウェブサイト「まるっと！女性の健康教育プログラム」を作成し、同プログラムを活用するための、「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援に向けた手引書(初版)」を作成した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1) 荒田尚子 国立成育医療研究センターにおけるプレコンセプションケア 産婦人科実際 73 (5), 2024.5

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

なし

